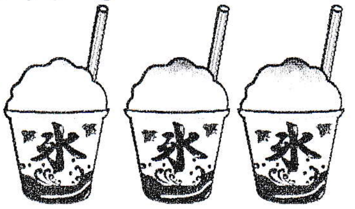
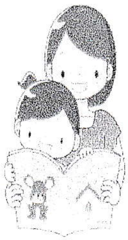
あきやま子どもクリニックニュース2019年8月号

この夏、私の初孫が１歳になります。この１年の成長を身近でみてきました。体重の増え方、発達、離乳食の食べ方など変化していくのは、喜びではありますが、これでいいのかという心配にもなります。しかし、よく食べて、よく寝て、よく遊んでくれることが何よりだと思います。





「日下隼人医師より」

おとなが読んでくれる絵本を、子どもが目を輝かせて聞き入っているのならそれはきっと良い絵本です。それに、子どもはおとなが自分のために話してくれることが、とてもうれしいのです。そんなふうにお話に引きこまれていく子どもの姿を見ると、私たちもワクワクしてきます。読み聞かせは子どもの心も大人の心も温かくしてくれるのです。おとなが子どもに何か贈りものをするときには、おとなはいつも子どもからそれ以上のお返しをもらっているのです。少しだけ先に生きた者として、おとなから子どもに伝えなければならないことはありますが、子供からの贈り物を受け取ることもきっとおとなの「しごと」です。子どものことを、長い宇宙の歴史の中で今という一瞬の時を一緒に生きている友人だと考えるほうが、私たちおとなの人生も楽しくなりそうです。

Mama&Baby

「出産したら母乳は出る」と思っていませんでしたか？実際には、出産で疲れ切った状態での母児同室。首の座っていない赤ちゃんの抱っこは難しく、上手く乳首を咥えさせられない。ぱんぱんに張った乳房。容赦なく泣く赤ちゃんに、泣きたくなった方は多いのではないでしょうか。母乳栄養は産後1か月くらい、場合によっては2～3か月で軌道に乗っていきます。困ったり悩んだりしたらMama＆Babyあきやまで相談してください。

（文責　酒井敏恵）

病児保育室便り

病児保育室の部屋に先々月からステキな絵が飾られています。
2階にある、あきやま保育室のお子さんに音楽を教えてくださっている先生のお父様が描かれた絵です。
今までは真っ白な壁のみだったので、その中にオレンジや青、緑などの色が入りお部屋がとても明るくなりました。利用するお子さんも絵に興味を持ち、「誰が描いたの？」とスタッフに聞いたりしています。

（文責　千葉美香）

最近の流行っている病気

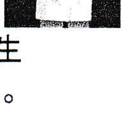
手足口病が大流行中です。発熱して数日後に手足に発疹がでることが多いようです。　嘔吐・下痢の急性胃腸炎、咳がひどいマイコプラズマ感染症、結膜炎をおこすアデノウイルス感染もみられています。

感染症として、突発性発疹、溶連菌感染症、水痘、流行性耳下腺炎があります。

訪問看護ステーション

障害のあるお子さんの栄養には、ミルクや特殊な栄養剤などを入れる事が多いですが、管を通る形状であればなんでも栄養として入れる事ができます。ある医師の方が自分に胃管を入れ、牛乳や味噌汁を注入してみたそうです。口の中を通らないのに、そのものの匂いを感じる事ができ、よだれが出たり、食事をした感覚があったそうです。食品から栄養を摂ることで感覚を発達させ食への喜びを知ることができる、これは大切なことだと思います（文責　梅田可愛）

かかりつけ医に登録している方（ゴールドカードの方）は、9月よりインフルエンザの事前予約を開始します。HPで御確認下さい。一般の方は10月からの予約になります。



今月の代診と休診

28日（水）　一日　　　　　宗像先生
木曜日午前診療は濱野先生です。

夏休みは8月11日～25日です。
26日から通常通りです